

真岡の魅力を発信！
真岡市
アンバサダー
紹介

「真岡市アンバサダー」は、さまざまな分野で活躍する市の出身者や市にゆかりがある方を通じて、真岡市に関する情報を市内外に発信することで、市のイメージアップや各分野の振興を図ることを目的としています。
今回は、現在活躍されている5人のアンバサダーを紹介します。(アンバサダー就任順)



競泳バタフライ選手／新潟医療福祉大学職員
みずぬま なおき
水沼 尚輝 さん

出身校：山前小・中学校－作新学院高等学校－新潟医療福祉大学

東京オリンピック2020に日本代表として初出場。男子100mバタフライでは準決勝へ進出、男子4×400mメドレーリレー決勝では第3泳者として出場し、日本記録を樹立しました。その後令和3年9月に真岡市初のスポーツアンバサダー(現真岡市アンバサダー)に就任。市のスポーツ振興やプロモーション活動を兼ねて、母校で児童や生徒へ向けた講演会などを行っています。



FC岐阜(J3)監督／元サッカー日本代表コーチ
うえの ゆうさく
上野 優作 さん

出身校：真岡西小－真岡中－真岡高校－筑波大学

真岡高校では、主将として全国高校サッカー選手権大会に出場したほか、大学在学中に日本代表に選出。卒業後、J1リーグのサンフレッチェ広島やアルビレックス新潟でプレーし、平成20年には栃木SCのJ2昇格にも貢献。引退後、栃木SCや浦和レッズでヘッドコーチを務め、令和3年にサッカー日本代表コーチに就任。令和4年5月、真岡市アンバサダーに就任しました。



陶芸家
いぐち だいすけ
井口 大輔 さん

出身校：東北芸術工科大学

大学を卒業後、栃木県窯業指導所研究生を修了。浦口雅行氏に師事し、平成16年に真岡市に窯業を独立させました。井口さんの作品は、「銹陶」という独自技法で作られており、陶器がさびて、風化したような表現が海外でも高く評価されています。令和4年7月に真岡市アンバサダーに就任。オーストラリア・ハーヴィー市への友好都市締結記念品(写真)として井口さんの作品を贈呈しました。



OSK日本歌劇団 前トップスター
きりゅう あさや
桐生 麻耶 さん

出身地：真岡市

平成30年にOSK日本歌劇団のトップスターに就任し、令和元年には、大阪市が大阪文化の振興に貢献し、将来の大阪文化を担う人材に贈る「咲くやこの花賞」を劇団として初受賞。現在は特別専科に移行し、外部出演など歌劇の枠を超えて活躍中です。令和4年7月に真岡市アンバサダーに就任し、母校でラインダンス教室を実施。市民会館では、就任の記念公演も開催しました。



女子バレーボール選手／Vリーグ岡山シーガルズ
うがじん みずき
宇賀神 みずき さん

出身校：真岡東小・中学校－国学院大学栃木高等学校

平成26年にVリーグの岡山シーガルズに入団し、セッターとして活躍。令和4年には、女子バレーボール日本代表登録メンバーに選出されました。令和4年8月に真岡市アンバサダーに就任。今年5月には、市内のバレーボールクラブや部に所属する小・中学生を対象にバレーボール教室を実施し、目を輝かせる子どもたちへ、手本を示しながら真摯に指導を行い、一緒に汗を流しました。

